

後援会だより

第8号 2009. 9. 1

編集発行／鹿児島大学法文学部後援会

目次	
○後援会会長ご挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
○後援会顧問（法文学部長）ご挨拶・・・・・・・・	1
○後援会総会が開かれました・・・・・・・・・・	2
○研究室紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
○就職状況、後援会役員紹介・・・・・・・・・・	3
○平成20年度決算・平成21年度予算・・・・・・・・	4

○後援会会長ご挨拶

鹿児島大学法文学部後援会会長 大川満雄



人によっては何年も前から、今か今かと期待に胸を膨らませてきた皆既日食でしたが、残念ながら意地悪な雲に邪魔されて満足には楽しむことは出来ませんでした。それでも、時折、雲間に三日月型の太陽を見つけて、感嘆の声を上げた人も少なくなかったのではないのでしょうか。夏の蒸し暑さを一時忘れさせた46年ぶりの壮大な天体ショーでありました。

さて、私こと、法文学部後援会の会長をお引き受けて2年目になります。去る7月18日（土）に開かれました後援会総会では、例年にも増して就職対策に比重を置いた事業計画（案）が提案されました。学部独自に就職相談員を置いて、県内の企業開拓や模擬面接などの個人指導を充実するという学部長のご説明に対し、拍手をもって予算（案）とともに承認されました。また、事務局から、後援会の加入率が落ちているので、今後、「後援会だより」による就職状況や学習活動等の情報提供を充実するとともに、未加入の保護者に対しては、再度の加入案内を計画しているとの説明もありました。総会での保護者からのご質問や総会後の懇談会での話題はもっぱら、学生の就職状況や学習活動のことが中心であったように思います。昨今の厳しい就職環境を考えるに付け、後援会会長として、就職支援の充実に一層の力添えの必要性を感じたところです。保護者の皆様におかれましては、後援会活動に益々のご理解とご支援を願うものであります。

○後援会顧問（法文学部長）ご挨拶

鹿児島大学法文学部長 木部暢子



法文学部の近況についてご報告申し上げます。

○法文学部の建物がきれいになりました。

法文学部では昨年度、国の補正予算により、法文学部1号館の東側半分の改修工事を行いました。耐震補強が改修工事の主な目的ですが、あわせて、エレベーターの拡張工事や学生のコミュニティー・スペースの整備、トイレの改修・増設なども行いました。改修後は、車椅子でもゆったりとエレベーターに乗ることができるようになり、また、休み時間に学生がくつろぐスペースも増えました。今年度は、残り西側半分の改修工事と2号館のトイレの改修工事を行う予定です。8月から来年3月までの工事期間中は、学生にも何かと不便をかけますが、来年4月にはすっかりきれいになった建物で新入生を迎えることができそうです。

○大学評価で高い評価を受けました。

国立大学法人は、来年3月で第1期中期目標・計画期間（6年間）を終えます。それに伴い、昨年度はすべての国立大学法人が目標の達成状況を文科省へ報告し、それに対する評価を受けました。今年3月にその結果が公表されましたが、鹿児島大学は、大学全体としては87国立大学法人の中の間くらい、法文学部としては全国の文系学部の中で上位の結果をいただきました。特に、教育に関する評価では、「教育内容」「教育方法」「進路・就職の状況」「質の向上度」の項目で高い評価をいただいています。既刊の『後援会だより』でも紹介して

きましたように、本学部・大学院では徹底した少人数教育や現代G P (Good Practice) による特色ある教育を行っています。今回の評価では、それが認められたのではないかと考えています。なお、鹿児島大学の評価結果は、次のアドレスでご覧になれます。

<http://hh.kuas.kagoshima-u.ac.jp/daigakuhyoka/index.html>

○大学創立 60 周年をむかえます。

昭和 24 (1949) 年、全国に新制大学が誕生しました。鹿児島大学もこの時に誕生しましたから、今年、創立 60 周年をむかえます。法文学部は第七高等学校造士館 (明治 4 年設置) を母体として、このときまず、文理学部としてスタートし、その後、昭和 40 (1965) 年に文理学部が法文学部と理学部に分かれ、現在のような形になりました。大学では 11 月 15 日の大学記念日のころに 60 周年の記念行事を予定しています。法文学部では七高時代を含めた展示を企画しています。ぜひお立ち寄りください。

○後援会総会が開かれました

7 月 18 日 (土)、後援会総会が開かれました。梅雨の合間の蒸し暑い日にもかかわらず、約 110 名の保護者・教職員の参加があり、木部暢子法文学部長、大川満雄後援会会長の挨拶に引き続き、役員改選、20 年度事業報告・決算、21 年度事業計画 (案)・予算 (案) などの審議が行われ、承認されました。

また、総会後に開かれた懇談会には約 80 名の参加があり、学部・研究科教員も交えて、学生の就職状況や教育方針などの話題を中心に和やかに談笑する姿が見られました。



総会後の懇談会風景

○研究室紹介

人文学科 社会言語論研究室

「いま」を見つめる教育を目指す

..... 担当教員：太田一郎

メディアと現代文化コースは人文学科でもっとも新しい教育コースです。人文学の研究は「過去」(歴史学、考古学など)や「人間」(哲学・思想、心理学、人類学など)に焦点があるものが多いのですが、私たちのコースは「いま」がキーワードです。現在は社会が複雑

化しています。そのような中では、勘違いや思い込みなどから偏ったものの見方をしてしまい、社会が抱える問題の本質を見落としている場合も多くあります。メディアコースでは、従来の学問分野の枠にとらわれずさまざまな角度から現代をながめ、いまわれわれの周りにある問題を的確にとらえるための批判的分析能力、考察力をつけることを目指して教育を行っています。

私が担当する「社会言語論」はことばと社会の関わりから世の中の問題を考える授業です。ことばの問題はしばしば「正しい/誤り」といった極端な話になることが多いのですが、ことはそれほど単純ではありません。ことばは情報をつたえるだけでなく人々の関係や社会の根幹を形成するはたらきももちます。そのはたらきをしっかりと見つめ直すことで、見えなかった問題が浮かび上がってきます。今年の講義では「敬語」を取り上げました。敬語のはたらきは「敬意を表す」ことと思われていますが、じつは「話し手と聞き手、および話題に上る人物の間にもどのような関係があるかを表現する」ための手段で「敬意」はその中から生じる二次的意味に過ぎないこと、そしてこのような言語的工夫は「ポライトネス」と呼ばれる人間行動の原理によって説明可能で、日本語だけがとくに優れているわけではないことなどを話しました。このように世間に流布するある種の「常識」を学問的知識をもとにとらえ直すことによって、学生たちがより柔軟な考え方や意識をもってくれるようになればと願っています。

..... 人文社会学研究科博士前期課程 2 年 辻本彩乃

私は現在、人文社会科学研究科で現代文化論を専攻しています。学部の 2 年次からメディアと現代文化コースに所属し、現代文化論やメディア論などを中心に学んできました。学部の時には地域のテレビ局や新聞社の方々から直接マスコミの仕事や現代社会について学ぶ授業があったり、講義



や演習を通して時事問題 「社会言語論」の授業風景

からサブカルチャーに至るまで幅広く現代文化に関して学んだり所属していたコースでの勉強は非常に充実したものでした。自分の研究したいことについてコース全体でディスカッションをしていく授業もおもしろく、学んでいく中でさらに自分の研究を深めていきたいと思い、人文社会科学研究科に進学を決めました。

修士課程で学んでいて日々感じるのは、勉強すればするほど疑問や知りたいことが増えていき、研究に終わりというものがないということです。私は現在「若者の身

体装飾」をテーマに研究を進めているところですが、「身体装飾」というひとつのテーマでも一概にひとつの学問分野から学べばよいということはなく、視点を変えることで新たな疑問が生まれるため、違う学問分野ではどうなのか、この疑問を解決するにはどの分野から学べるのかなど普段から広い視野を持つことが大切だと感じます。修士課程では、学部ของときに想像していた以上に学ぶことがおもしろく、また同時に大変さ、難しさを感じます。

人文社会科学部研究科では自分の専門分野以外に様々な専門分野の授業を受講することが出来ます。学部時代には交流のなかった他コースの先生方からも自分の研究に対し、新しい視点から指導や示唆をしていただけたため、新たな発見や自分の研究を見つめ直す機会が出来て自分にとってとても良い環境だと感じています。今後は文献資料のみでなく、自分の足を使ったフィールドワーク調査やアンケート調査などの実際的な資料収集も行い、社会との関わりを持つ生きた研究をしていきたいと思ひます。

○就職状況

保護者アンケートや後援会総会での意見交換の場で、就職に関する情報提供を望む声が多く寄せられました。今後、「後援会だより」を通じて、できるだけ最新の就職状況をお知らせしていきたいと思ひます。

表①は、21年3月卒業者の就職状況、表②は、22年3月卒業予定者の就職内定状況です。就職希望者数に約90人の開きがありますが、これから後期に入りますと、来年度の公務員試験や就職に必要な資格取得を目指す者、あるいは留年するケースも出てきますので、前年度並みに減少するものと思ひれます。

①平成20年度卒業者の就職状況

2009/5/1現在

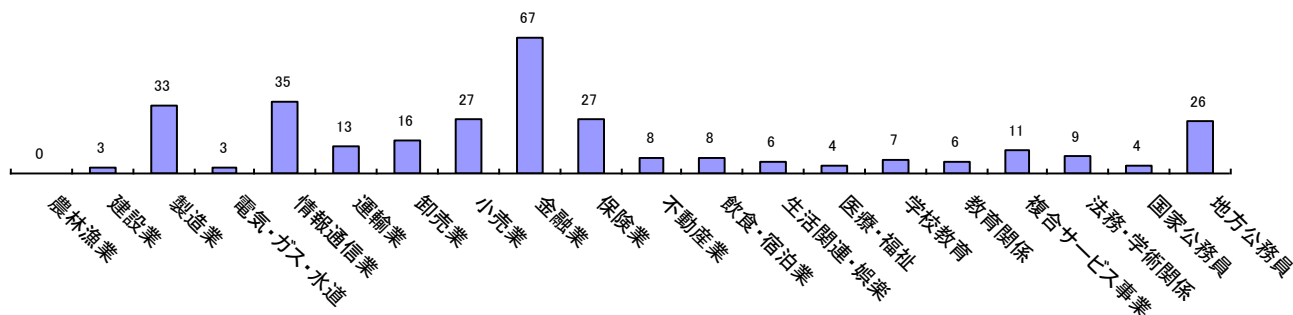
学 科	法政策	経済情報	人 文	合 計
就職希望者数	79人	126人	127人	332人
就職者数	74人	120人	119人	※313人
就職率	93.7%	95.2%	93.7%	94.3%

②平成21年度卒業予定者の就職内定状況

2009/8/26現在

学 科	法政策	経済情報	人 文	合 計
就職希望者数	109人	160人	155人	424人
就職内定者数	36人	78人	56人	170人
就職内定率	33.0%	48.8%	36.1%	40.1%

※就職者数(313人)の産業種別内訳(単位:人)



*法文学部就職委員長(渋谷 正 経済情報学科教授)のコメント

平成20年度の就職率は、法文学部全体で94.3%でしたが、平成21年度の内定率(就職希望者数に対する内定者の比率)は、昨年秋のリーマン・ショック後の雇用情勢の悪化を受けて、一転して40.1%(8月26日現在)に留まっています。学生は、新規採用のあまりにも急激な落ち込みに対応しきれなかったものと思ひれます。今後は公務員試験の合格者が内定者に加わりますが、これを加えても就職率のそれほど大きな改善は見込めないでしょう。

法文学部就職委員会は、就職活動中の4年生に対しては、一人でも多く就職してもらうように、本年1月に法文学部に新設した就職支援室並びに全学の就職支援センターと連携しながら引き続き就職支援に当たります。

○平成20年度決算・平成21年度予算

(平成20年度決算)

1. 収入の部

(単位:円)

平成20年4月1日～平成21年3月31日

項目	予算額(A)	決算額(B)	増減額(B-A)	適用
正会員会費	2,695,000	6,320,000	3,625,000	保護者会員
特別会員会費	640,000	640,000	0	教職員会員
賛助会員会費	0	0	0	
前年度繰越額	18,005,861	18,005,861	0	
雑収入	140,000	225,106	85,106	懇談会個人負担分、預金利息等
合計	21,480,861	25,190,967	3,710,106	

2. 支出の部

(一般会計)

項目	予算額(A)	決算額(B)	増減額(B-A)	適用
事業費	8,200,000	5,074,011	△ 3,125,989	就職支援室の開設、野外実習の旅費支援等
会議費	400,000	329,360	△ 70,640	理事会、総会の開催経費
事務運営費	1,300,000	1,035,729	△ 264,271	後援会だより印刷・送料、後援会事務員雇用経費等
予備費	193,987	0	△ 193,987	
次年度繰越額	0	7,364,993	7,364,993	
小計	10,093,987	13,804,093	3,710,106	

(特別会計)

項目	予算額(A)	決算額(B)	増減額(B-A)	適用
学生事故対策費	2,800,000	0	△ 2,800,000	
概算要求対策費	1,500,000	0	△ 1,500,000	
設備整備充実費	4,000,000	3,455,440	△ 544,560	法文学部1号館改修費の支援、野外テーブルの設置等
国際交流費	534,570	13,650	△ 520,920	学部長の中国大学訪問経費補助
学生支援費	1,726,480	0	△ 1,726,480	
その他	825,824	41,083	△ 784,741	学部長と留学生との懇談会経費等
次年度繰越額	0	7,876,701	7,876,701	
小計	11,386,874	11,386,874	0	

項目	予算額(A)	決算額(B)	増減額(B-A)	適用
合計	21,480,861	25,190,967	3,710,106	

(平成21年度予算)

1. 収入の部

(単位:円)

平成21年4月1日～平成22年3月31日

項目	20年度予算額(A)	21年度予算額(B)	増減額(B-A)	適用
正会員会費	2,695,000	1,525,000	△ 1,170,000	保護者会員
特別会員会費	640,000	640,000	0	教職員会員
賛助会員会費	0	0	0	
前年度繰越額	18,005,861	15,241,694	△ 2,764,167	
雑収入	140,000	140,000	0	懇談会個人負担分、預金利息等
合計	21,480,861	17,546,694	△ 3,934,167	

2. 支出の部

(一般会計)

項目	20年度予算額(A)	21年度予算額(B)	増減額(B-A)	適用
事業費	8,200,000	9,000,000	800,000	就職支援室の運営経費、後援会だよりの送料等
会議費	400,000	300,000	△ 100,000	理事会、総会の開催経費
事務運営費	1,300,000	1,200,000	△ 100,000	後援会だより印刷・送料、後援会事務員雇用経費等
予備費	193,987	41,033	△ 152,954	
小計	10,093,987	10,541,033	447,046	

(特別会計)

項目	20年度予算額	21年度予算額(B)	増減額(B-A)	適用
学生事故対策費	2,800,000	2,000,000	△ 800,000	学生事故発生時への緊急対応経費
概算要求対策費	1,500,000	1,200,000	△ 300,000	学部・研究科の基盤整備等
設備整備充実費	4,000,000	2,100,000	△ 1,900,000	法文学部1号館改修経費、その他環境整備等
国際交流費	534,570	870,920	336,350	国際学術交流経費
学生支援費	1,726,480	500,000	△ 1,226,480	学生交流支援経費
その他	825,824	334,741	△ 491,083	学部長教育研究活動経費等
小計	11,386,874	7,005,661	△ 4,381,213	

項目	20年度予算額(A)	21年度予算額(B)	増減額(B-A)	適用
合計	21,480,861	17,546,694	△ 3,934,167	